

第1回

グッドライフ アワード

Good Life Award 2014



記念すべき第1回グッドライフアワードは、2013年12月9日から2014年2月3日まで募集し、合計147件の応募がありました。ウェブ上での国民投票を経て、最優秀賞1件、優秀賞3件、グッドライフ特別賞6件が環境大臣賞を受賞されました。表彰式は2014年3月21日に六本木農園で開催。まだ生まれたてのアワードにも関わらず、多数の応募が寄せられ、環境と社会への関心の高さを感じました。





第1回グッドライフアワード
環境大臣賞 最優秀賞

三陸の海を取り戻せ！ (三陸沿岸部復興・保全活動)

三陸ボランティアダイバーズ

第1回グッドライフアワードで最優秀賞を受賞した、岩手県大船渡市などを中心に
海底の震災がれき撤去作業などを続けている『三陸ボランティアダイバーズ』。
2014年9月の休日。この日も全国各地からボランティアのダイバーが集まって
作業をするということで、取材に行ってきました。

岩手県大船渡市、釜石市、大槌町、宮城県女川町、石巻市、気仙沼市

<http://sanrikuvd.org/>

<https://www.facebook.com/sanrikuvd>

1) この日集まったボランティアのダイバーと綾里漁協小石浜漁港の漁師さんたち。 2) 2011年5月。漁港には船を着けるのも大変な状態でした。
3) グッドライフアワード最優秀賞受賞も活動発展の契機に！ 4) 震災直後の海底には、被災地の生活が押し流されていました。 5) 取材時の参加者のみなさん。
右ページ) 清掃活動中。海の中の様子 (写真提供：塩崎仁美)



この川に、鮭が戻ってこられるか？

『三陸ボランティアダイバーズ』の代表者は、陸前高田市内でダイビングショップを構える佐藤寛志さん。東日本大震災が発生した時は、海外で仕事をしていました。大震災の発生と津波被害のニュースを知って急遽帰国。三陸に戻ってみると、津波被害の惨状が広がっていました。

「この川に、鮭が戻ってきてくれると思うか?」「この港で水揚げされた魚を、自信をもってたくさんの人に食べてもらえるか?」大船渡市で漁業に携わる親戚は、漁船が打ち上げられて荒れ果てた港や河口の風景を前に、途方に暮れるばかりの様子だったといいます。鮭が戻ってくるはずの河口はがれきの山に埋もれ、漁港の湾内やホタテやワカメ、ホヤといった自慢の海産物の養殖エリアの海底にもたくさんのがれきが沈んでいました。

「よし、ダイバーである自分が潜って、海底のがれきを清掃しよう」。佐藤さんの決心が『三陸ボランティアダイバーズ』のスタートになりました。

がれき撤去だけでなく、養殖漁業のサポートも！

海底がれきの撤去作業には全国各地からダイバー仲間が集まってくれるようになり、佐藤さんは継続的な活動を続けていくためにNPO法人『三陸ボランティアダイバーズ』を設立。活動を広げてきました。

湾内などの海底清掃を始めたのは震災発生から1カ月ほどが過ぎた頃のこと。海の底には被災地で暮らしていた人たちの生活が押し流されていました。そんな中、三陸ボランティアダイバーズは、地道に海底がれきの撤去を続けてきました。

しばらくすると、養殖エリアの海底がれき清掃が進んでホタテやワカメなどの養殖が再開されました。三陸ボランティアダイバーズは、漁師さんたちからの要請に応じて、養殖施設の修復や、ホヤ養殖を再開するための親ホヤ採取などの海中作業を手伝うようになりました。海底がれきの撤去に加え、漁業のサポートを行うようになったことで、三陸ボランティアダイバーズの活動はさらに広がっていきました。

がれき清掃や漁業サポートのために潜るのは、実はダイバーにとってやりがいのあることでした。海中の風景や生物を探索するだけのダイビングより、むしろ「楽しい」と気付くことができたのです。楽しみながら役立つこと。それが、三陸ボランティアダイバーズの活動が継続する為の最大のポイントです。

役立つダイビングを楽しめること！

漁師さんとの信頼関係を築くことができたのも、活動がうまくいっている大切なポイントです。もともと、漁師さんにとってダイバーは「密猟者」とさえ思われている存在でした。綾里漁協に佐藤さんの親戚がいたことをきっかけにして、三陸ボランティアダイバーズが地道に活動を続けてきたことで、多くの漁協で、たくさんの漁師さんたちとの信頼関係を築くことができたのです。

第1回のグッドライフアワードで最優秀賞を受賞したことで「初めて顔を合わせる漁師さんにも私達の活動を理解してもらいやすくなりました」と佐藤さん。最近では、三陸での漁業サポートを続けながら、海の価値をたくさんの人に知ってもらうための講演活動などにも取り組んでいるそうです。



環境大臣賞 優秀賞・グッドライフ特別賞

第1回グッドライフアワードの環境大臣賞は、最優秀賞「三陸の海を取り戻せ! (三陸沿岸部復興・保全活動)」(前頁参照)のほかに、優秀賞3点、グッドライフ特別賞6点が選ばれました。はじめてのアワードに日本各地から多くの取り組みが寄せられました。日本各地で「環境と社会に良い暮らし」が芽吹きました。

優秀賞

- やまぐち食べきっちる運動 ～おいしく、ぜんぶ、たべちゃろう～
- 「世界の宝石ー瀬戸内海」を磨く ～ごみのないきれいな海を未来の子供に手渡す取り組みの実践～
- 田舎でシュウカツ ～自然エネルギーで生活する楠クリーン村へようこそ～

グッドライフ特別賞

- 「シンプルライフ五箇条」と「シンプルライフ家計簿」でグッドライフをめざせ
- おかえりやさいプロジェクト
- 世界をお買いものでハッピーに! ～ Re DESIGN PROJECT (リ デザインプロジェクト) ～
- 自然に抱かれて生きる 豊岡の新しい暮らし方
- リサイクル・ボランティア・コミュニティ ～みんなで作る民間図書館
- Stand for mothers 親子GOMI拾いプロジェクト



環境大臣賞 優秀賞

やまぐち食べきっちる運動 ～おいしく、ぜんぶ、たべちゃろう～

山口県食品ロス削減推進協議会

山口県内で発生する食品廃棄物は年間18万トン。このうち、6.1万トンがまだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」です。家庭や飲食店等のわたしたちの「くらし」に身近なところから4.9万トンの廃棄物が排出されています。(平成22年度山口県調査)

山口県食品ロス削減推進協議会では、外食時や家庭での食べ残しなどを減らし、食材を“おいしく、ぜんぶ、食べきる”「やまぐち食べきっちる運動」として次の取組を全県的に展開しています。

山口県全域

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15700/24shokuhin/24shokuhin.html>

<https://www.facebook.com/yamaguchi.syokurosu>



環境大臣賞 優秀賞

「世界の宝石ー瀬戸内海」を磨く ～ごみのないきれいな海を未来の 子供に手渡す取り組みの実践～

特定非営利活動法人
グリーンパートナーおかやま

明治の頃ごみのない瀬戸内海は外国から訪れた人々もその風景を絶賛していました。風景のみでなく、海自体も綺麗でした。私たちは、再びこの美しい瀬戸内海を取り戻すことを考え、「海ごみの現場を理解して貰うための普及啓発活動」「海ごみの流れる元を断つための清掃活動」「海底ごみの持続可能な回収処理を目指した関係者間のネットワークづくり」に取り組んでいます。

岡山県岡山市南区

<http://green-partner.jimdo.com/>

<https://www.facebook.com/GPOkayama>



環境大臣賞 優秀賞

田舎でシュウカツ ～自然エネルギーで生活する 楠クリーン村へようこそ～

楠クリーン村

楠クリーン村は、田舎から発信する第六次産業と自給自足の農ライフスタイルのモデルを目指しています。耕作放棄地だったお茶山畑を開拓し、セルフビルドで建てた小屋や倉庫でお茶作り・野菜やブルーベリー作り、和牛の放牧に取り組みを始めて7年。いまは堆肥を自前でまかない、無農薬・無科学肥料のフカフカ土を手に入れて、循環型農業のかたちに少しずつ近づいています。

山口県宇部市

<http://www.kousakutai.net/>

<https://www.facebook.com/kousakutai>





環境大臣賞 グッドライフ特別賞

「シンプルライフ五箇条」と「シンプルライフ家計簿」でグッドライフをめざせ

特定非営利活動法人
シンプルライフ普及センター

人類にとっての「よい暮らし」とは、地球から与えられた以上に消費せず、また作り出したモノがふたたび地球の命へ合流して循環することを願い、感謝する日々の営みでなければなりません。そこでいま、私たちNPO法人シンプルライフ普及センターは、「シンプルライフ五箇条」と「シンプルライフ家計簿」を提案します。

静岡県伊東市

http://homepage2.nifty.com/e-simplelife/140927_kakeibo.houkokukai001.html

環境大臣賞 グッドライフ特別賞

おかえりやさいプロジェクト

個人(リーダー他市民会議に参加した市民)、企業(収集運搬業者、再生利用事業者、小売業者、ホテル、産廃業者など)、NGO(社団法人)、行政(名古屋市)、農家、地域コミュニティ(雁道商店街コミュニ

名古屋市は1999年にゴミ非常事態に陥り、ゴミの減量に真剣に取り組みました。その後、市民・事業者・行政が参加して「名古屋市第4次一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。「おかえりやさいプロジェクト」は、このとき「生ゴミ循環を言いつばなしにしないで、自ら取り組もう」と思った有志を母体に2008年2月に発足しました。私たちは「おかえりやさい」が地域ブランドになることで、生ゴミ食品資源循環の環を市民に可視化することを目指しています。

愛知県名古屋市

<http://okaeri.n-kd.jp>

<https://www.facebook.com/pages/おかえりやさい-プロジェクト/1521074371450283>

環境大臣賞 グッドライフ特別賞

世界をお買いもので
ハッピーに！

～ Re DESIGN PROJECT ～

ユニー株式会社



「地球の資源は限りなく、お買い物をすることでつなぐことができます。」
Re DESIGN PROJECT



使われず廃棄されてしまう未利用資材(生地など)を使い、デザインを専門に学ぶ学生がデザインした商品を、障がい者が生産し、ユニーの店舗で販売するものです。この商品はファッション性・機能性に優れたエコ商品であり、障がい者へのチャリティーではなく、「私の好きなエコ商品」として購入していただけます。ユニーは商品を販売すること、お客様はお買いものをするすることで、地域貢献・社会貢献ができます。「地球」「若者」「障がい者」とお客様、皆がお買いものを通じてつながりあいハッピーに！

全国の【アビタ】限定店舗

《ユニー株式会社(本社：愛知県稲沢市)》

<http://mokuikulabo.info/>

環境大臣賞 グッドライフ特別賞

自然に抱かれて生きる
豊岡の新しい暮らし方

豊岡市



豊岡市は、コウノトリ野生復帰の取組みから、環境と経済の共鳴するまちを目指しています。東北大学大学院環境科学研究科の石田秀輝教授・古川柳蔵准教授と共同で、2030年、化石燃料が不足などの環境制約が悪化し、現在のように便利な生活ができなくなる。その中で、我慢して毎日を送るのではなく、制約の中で、自然の技術も取り入れ、豊岡市民が、ワクワクドキドキ暮らすにはどうしたらよいかを市の若手職員7名と市内企業の6名で、バックキャスト手法で検討しました。

兵庫県豊岡市

<http://www.city.toyooka.lg.jp/www/contents/1391134056204/>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

リサイクル・ボランティア・コミュニティ ～みんなで作る民間図書館

NPO 法人 情報ステーション

僕らが作る民間図書館は、ただ本を借りるだけでなく、「みんなで寄贈本を持ち寄り」「みんなが交代で窓口に立ち」「誰でも気軽に利用できる」地域の交流空間です。年間2万冊に及ぶ寄贈本を受け付けております。もちろん、大切な本はずっと手許に置いておきたいと思うでしょう。しかし、小説などを中心に一度読んだ本はなかなか読み返す事も無く、本棚に眠り続け、引っ越しなどの機会にまとめて廃棄される事が多いのではないのでしょうか？ 皆さんからの寄贈本を地域みんなでシェアしようというリサイクル図書館です。

千葉県船橋市を中心

<http://www.infosta.org/>

<https://www.facebook.com/infosta>



環境大臣賞 グッドライフ特別賞

Stand for mothers 親子GOMI拾いプロジェクト

一般社団法人Stand for mothers

「子どものころからゴミ拾いしていれば、ごみを捨てる大人にはならない!」という、一人のママの気づきと想いをきっかけに、2012年11月より、渋谷区や堂々とゴミ拾いする人を増やす運動を続ける団体「GOMIファンタジスタ」と共に、子どもとママ、パパと一緒に渋谷の街のゴミ拾いを毎月1回実施している、親子のまなびプロジェクトです。本や口で教えるのではなく、カラダで、親子一緒にやって覚える教育の大切さを知り、さらにfacebookなどで活動を知った他の地域のママたちも、同じような活動を始め、全国に広がろうとしています。

東京都

<http://sfma.jp/>

<https://www.facebook.com/standformothers/>

審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

特産でeco&smile

兵庫県立篠山東雲高等学校

篠山市の特産品山の芋を改良し、グリーンカーテンにも活用。
市内の全幼・小・中学校で設置、公共施設や市役所とも連携。

兵庫県篠山市福住

<https://www.facebook.com/yamanoimoGC>



審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

エコパークで地域資源のリサイクル

地域コミュニティ 御前崎エコクラブ

行政と地域住民団体が協働で維持管理を行い、手づくり公園
日本一を目指します。22,000m²の公園を10年かけて再生。

静岡県御前崎市

<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki/ecopark>



審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

移住女子発! 中山間地域発信 プロジェクト ChuClu (ちゅくる)

移住女子ちゅくる編集部

“移住女子”の「よそ者・若者・バカ者・女子」視点で「中山間地域のくらしの発信し、中山間地域を次世代につなぐ事」を目指します。

新潟県長岡市ほか

<http://inacollege.jp/iju-joshi/>

<https://www.facebook.com/chuetsu.intern>



審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

週休4日は畑で自給100%を目指し、 更にアジアとコラボー 旅館・吉田屋

旅館吉田屋

営業は週末(金土日)の3日間のみ。残りの4日間で若者は畑に。
国境を超えたコミュニティ活動でアジアと協働しています。

島根県大田市温泉津町

<http://www.lets.gr.jp/yoshidaya/>



審査委員特別賞

審査委員特別賞「環境と地域づくり」特別賞

命をつなぐPROJECT

命をつなぐPROJECT 学生実行委員会他

知多半島臨海部の工場地帯に、工場群と住宅地を公害の緩衝地帯となる森「グリーンベルト」をつくる取り組んでいます。

愛知県知多臨海部の企業の森

<https://www.facebook.com/inotitunagu>



審査委員特別賞「環境と企業」特別賞

社内エコポイント制度
「Me - pon (ミーポン)」

前田建設工業 CSR・環境部

社員などが取り組んだ環境に配慮した活動に対して、環境配慮商品（エコ商品）と交換できる、「エコポイント」を会社が付与する制度です。

社員の家庭

<http://me-pon.net/>



審査委員特別賞「環境と企業」特別賞

KAMIDECO

山陽製紙株式会社

企業で不要になったコピー紙を回収し、100%再生紙を作り、紙製品にして回収元の企業様や、一般のお客様に提供しています。

大阪府泉南市

<http://kamideco-web.jp>

<https://www.facebook.com/KAMIDECO>



審査委員特別賞「環境と企業」特別賞

NEC 田んぼ作りプロジェクト
with アサザ基金

NEC CSR・環境推進本部 CSR・社会貢献室

30年以上にわたって耕作が放棄されてきた谷津田を再生、無農薬・無化学肥料での稲作で「100年後にトキの野生復帰」を目指します。

茨城県石岡市東田中地区

<http://jpn.nec.com/community/ja/environment/tanbo/>

<https://www.facebook.com/necmdd>



審査委員特別賞「環境と暮らし」特別賞

ウッドプランターズ

個人

間伐材を使うウッドプランターは森林保全の役に立ちます。
野菜作りを楽しみながら森林保全活動に貢献することが目的です。

群馬県前橋市

<http://clsc.web.fc2.com/>



審査委員特別賞「環境と暮らし」特別賞

壊さず、手渡す。 「中古住宅エコロジー」のススメ ー「イマ・アル住宅」で暮らそう！

静岡不動産流通活性化協議会

循環型社会の実現をめざし、「中古住宅エコロジー」をコンセプト
に掲げます。現在、16 団体で協同し活動中。

静岡県静岡市

<http://www.s-kyo.com/>



審査委員特別賞「環境と暮らし」特別賞

竹粉で生ごみたい肥を作ろう！

静岡市沼上資源循環センター啓発施設

自然界の問題と生活上の問題をあわせて処理する目的で、タケから竹粉を作り、生ごみに混ぜて分解させる手法に取り組みます。

静岡市沼上資源循環センター啓発施設

<http://www.shizuoka4r.jp/>



審査委員特別賞「環境と食農」特別賞

鳥獣害問題解決策としての 狩猟肉利活用

株式会社椿説屋、大分狩猟肉文化振興協議会、
各処理施設

狩猟肉の利活用を推進し、主に里山で問題となる鳥獣害問題の
解決策とします。雇用創出、新たな食文化を提案しています。

大分県大分市

<http://chinzeiya.com/>



審査委員特別賞

審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

土佐山アカデミー

NPO 法人土佐山アカデミー

地域内外から多様な人々が集う「学びの場」を目指し、ワークショップから長期滞在まで、多彩なプログラムを実施しています。

高知県高知市土佐山

<http://tosayamaacademy.org/>

<https://www.facebook.com/tosayamaacademy>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

体操服! 「いってらっしゃい、おかえりなさいプロジェクト®」

tiopro 実行委員会

着られなくなった「古い体操服」をまっさらな「新しい体操服」に生まれ変わらせて、学校に返すプロジェクトです。

京都市をはじめとして日本全国の学校参加に向けて活動中



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

普通の人々が、当たり前のように
森づくりに関心を持てる社会をつくる

NPO 法人森のライフスタイル研究所

森を知らない多くの人々に対して、森への無関心をなくすため、「楽しさ」を取り入れた多彩な活動を提供します。

長野県佐久市、木島平村や千葉県山武市など

<http://www.slow.gr.jp/>

<https://www.facebook.com/moridukuri>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

エネルギーを上手に使う！
プロジェクト

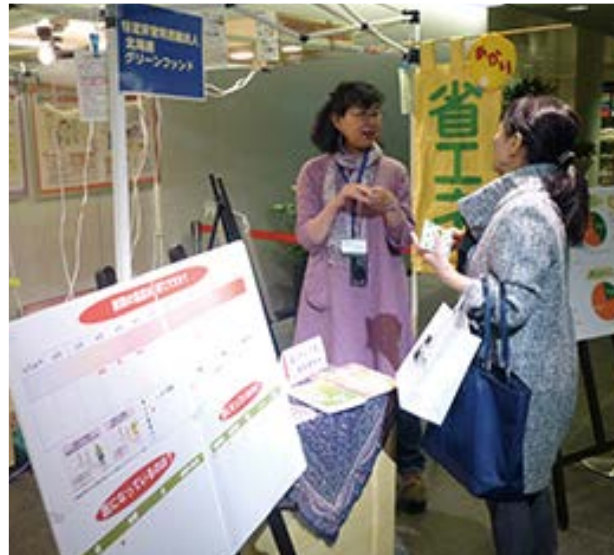
NPO 法人北海道グリーンファンド

少ないエネルギーで快適に暮らせる仕組みづくり構築のため「旅するエネセン（エネルギー情報センター）」で活動しています。

札幌市

<http://www.h-greenfund.jp/>

<https://www.facebook.com/h.greenfund>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

Eco-Campus Project for Next Iwate University

岩手大学環境マネジメント学生委員会

岩手大学環境マネジメント学生委員会(EMSC)による教職員と協働した学生主体の「エコ・キャンパス」創りを行っています。

岩手県盛岡市

<http://emsc.jimdo.com/>

<https://www.facebook.com/emsc.iwate>



審査委員特別賞「環境と学び」特別賞

地球温暖化から農業を守る 農業高校生の挑戦

静岡県立富岳館高等学校 環境科学研究部

植物成長調節物質 AHX をチップにしてトマト栽培等に利活用。AHXチップ区の収量は無処理区の1.4倍、糖度も高まりました。

静岡県富士宮市

<http://www.fugakukan-h.sakura.ne.jp>



審査委員特別賞「環境と福祉」特別賞

食の「もったいない」を「ありがとう」 に変えるプロジェクト

NPO 法人フードバンクかごしま

フードバンク活動を通じて、企業や個人から廃棄食品を無償で提供してもらい、食に困っている人達に無償で届ける活動です。

鹿児島県鹿児島市

<http://ksnk.org/>

<https://www.facebook.com/foodbank.k>



審査委員特別賞「環境と福祉」特別賞

西友のフードバンク活動

合同会社 西友

賞味・消費期限到来前の品質に問題のない、まだ食べられるもったいない食品を、食品を必要としている福祉施設等に寄付します。

関東(東京、埼玉、群馬)の52店舗を中心に

<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/activity/community2.php>



審査委員特別賞

審査委員特別賞「環境とデザイン」特別賞

「木を伐って、木を燃やそう、木を使おう、木で作ろう、木で遊ぼう、そして木を植えよう」森の循環復活プロジェクト

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

植林ではなく間伐に重きを置いた森林保全整備活動を軸に、「間伐先にありき」では無く、間伐材の“出口”を模索します。

活動拠点：宮城県栗原市・仙台市周辺・南三陸町

<http://www.fs-genki.com>


審査委員特別賞 ピックアップ特別賞

うどんまるごと循環プロジェクト

うどんまるごと循環コンソーシアム

うどん残渣でバイオエタノールを作りうどんを茹で、バイオガスで発電し、残渣を液肥にして小麦栽培、という再生の輪をつくります。

香川県高松市

<https://www.facebook.com/udon0510>


審査委員特別賞 ピックアップ特別賞

只見奨学米プロジェクト

株式会社奨学米

農家がお金ではなくお米を提供して、学生を食生活の面からサポートする新しい仕組みです。

福島県只見町

<http://syougakumai.com/tadamipj.html>
<https://www.facebook.com/syougakumai>


グッドライフアワード実行委員会

グッドライフアワード実行委員会は、アワードの主旨に賛同いただいている、環境と社会により活動に関わる分野でご活躍中の有識者の集まりです。実行委員会はグッドライフアワードの厳正な選考を行います。また、応募、受賞したプロジェクトが世の中に広がっていくためのサポートなど「グッドライフ」が日本全国に広がるよう、さまざまなかたちでご協力をいただきます。



山本良一 実行委員長

地球温暖化はますます深刻な状況になりつつあります。わたしたちは、真剣に社会を変える気概をもつべき時になっているのです。地球の環境を守りつつ、社会を変える意気込みをもち、アグレッシブに広げようとする取組の応募に期待しています！

東京都市大学特任教授、国際基督教大学客員教授、東京大学名誉教授、東京大学国際・産学共同研究センターセンター長。エコマテリアル・フォーラム名誉会長、環境経営学会会長、日本LCA学会会長、環境効率フォーラム会長、エコプロダクツ2015実行委員長等。



大葉ナナコ 実行委員

最近生まれた孫が85歳になると22世紀が訪れます。美しい日本を、地球を、22世紀の子どもや孫たちの世代に渡していけるように、未来を愛する気持ちが感じられる取組を応援したいですね。

株式会社バースセンス研究所代表取締役、バースコーディネーター、公益社団法人誕生学協会代表理事、ベビー & バースフレンドリー財団 代表理事。2003年にバースセンス研究所、2005年に日本誕生学協会を設立。自尊心を高めるいのちの教育プログラム「誕生学」が行政、学校、PTA、企業等に好評を博す。



炭谷茂 実行委員

福祉、雇用、街づくり。解決すべき課題はさまざまですが、全国各地を訪れると、ユニークな素晴らしい活動と出会うことが少なくありません。「ここにしかない」取組を日本中に広めるためにも、ぜひ応募してください。

社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長。2001年環境省官房長、地球環境局長、2002年総合環境政策局長、2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。2008年より現職。環境福祉学会会長、日本ソーシャルインクルージョン推進協議会代表、ソーシャルファームジャパン理事長、人権文化を育てる会代表世話人等。



中井徳太郎 実行委員

2015年7月17日に決定した「日本の約束草案」では、2030年には温室効果ガス排出を2013年比26%減とする目標が発表されました。この数字は、2050年に温室効果ガス排出を80%減とするための通過点です。環境・生命文明社会を実現していくために、社会にイノベーションをもたらすような取組の応募に期待しています。

環境省大臣官房審議官。東京大学法学部卒業。大蔵省(当時)入省後、主計局主査などを経て、富山県庁へ出向中に日本海学の確立・普及に携わる。財務省広報室長、財務省主計局主計官(農林水産省担当)、環境省総合環境政策局総務課長、大臣官房環境政策官兼秘書課長等を経て、2014年7月より現職。



藤野純一 実行委員

3年目を迎えるグッドライフアワード。いままでの取り組みもご参考に、きらりと光るユニークなグッドライフの取り組みから、普通の生活から生まれる何気ないグッドライフな取り組みまで、ご応募お待ちしております！

国立環境研究所 主任研究員。東京大学工学系研究科博士課程修了後、2000年より国立環境研究所。AIMプロジェクトメンバー。「環境未来都市」構想有識者検討会委員、「いいてまでいな復興計画推進委員会」委員、ICLEI 日本顧問等。2015年よりIGESシニアフェロー。主著書に「低炭素社会に向けた12の方策」(日刊工業新聞社)、「みんなの未来とエネルギー」(文溪堂)。



益田文和 実行委員

今、社会にはさまざまな変革の雰囲気が満ちています。現状を変えるためには、まず自分が動き、変わることが重要です。日本、そして世界にグッドライフを広げていくために、若いジェネレーションの力を感じられるような取組を待望します。

株式会社オープンハウス代表取締役。フリーのインダストリアルデザイナーとして家電等の製品デザインや地域産業のデザイン振興など国内外のプロジェクトに関わる。1991年株式会社オープンハウス設立。サステナブルデザイン国際会議実行委員長、キッズデザイン賞審査委員長などを務める。著書に「エコデザイン ベストプラクティス100」(共著/ダイヤモンド社)、「エコデザイン」(共著/東大出版会)等。



南谷えり子 実行委員

社会を変えていくためには新しい力が必要です。まだ手探りでも、始めたばかりでも。環境と社会をよくするために何かに取り組んでいる人は、積極的に応募してみたいと思います。地域や世代を問わず、フレッシュな取組に期待しています！

JMギャラリー代表。1950年東京都生まれ。ファッションジャーナリスト、玉川大学芸術学部非常勤講師、元エルジャポン編集長。学習院大学、ニューヨーク州立ファッション工科大学(FIT)卒業。伊藤忠ファッションシステム株式会社東京本社、同社ニューヨーク駐在員、「エル・ジャポン」編集長などを経て現職。

グッドライフアワード ウェブサイト

http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/

グッドライフアワードウェブサイトには、今までの受賞者レポートやムービーなど、「環境と社会に良い暮らし」を実践するヒントがいっぱい！過去の応募取り組みも、全て見るができます。

今すぐアクセス！もしくは

グッドライフ
アワードの
最新情報が
手に入る！



Facebookにも、グッドライフ
アワードのページがあります。
こちらにも全取り組みを紹介！

是非アクセスしてください

グッドライフアワード グッドライフのヒント・2015

発行日：2015年9月15日

発行：グッドライフアワード事務局 TEL: 03-6804-3858 Email: info@goodlifeaward.jp

http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/